

九州経済連合会の国際展開の取り組み

平成27年1月27日
一般社団法人 九州経済連合会

- 少子高齢化により国内市場縮小が危惧される一方でアジア市場は拡大の一途。日本が持続的経済成長を遂げるには、「成長著しいアジアの活力」を取り込む国際展開が不可欠。
- 特に、国内他地域よりも歴史・地理的にアジアに近い九州には、爆発的に増加しているアジア中間所得者層をターゲットにインバウンド・アウトバウンド戦略を優位に進めるチャンスがある。
- 九州経済連合会では、昨年9月に地域ブロック単位では初となる官民合同ミッション団を中国・上海市に派遣するなど、国際展開に取り組み、「九州から日本を動かす」気概で取り組んでいる。

○近い将来の国内市場

- ・現状レベルの出生率が続けば、50年後には日本の人口は3分の2の規模まで減少。
- ・約4割が65歳以上という「超高齢社会」に突入し、地域経済社会の維持も困難に・・・。

確実な未来

- ・「人口急減・超高齢社会」到来が必至

	2013年	2060年
人口	1億3千万人	9千万人
高齢化率 (65歳以上の割合)	25%	40%

現状のまま何もしない場合、「暗い未来」が待っている・・・

- ・マイナス成長が定着し、経済規模が縮小
- ・地方自治体の4分の1以上が消滅

○伸び行くアジアの活力を取り込め

- ・国内市場が縮小する一方で、アジア市場は拡大が見込まれている。
- ・九州は他地域と比較し、歴史・地理的にアジアに近い優位性がある。
- ・今、爆発的に増加しているアジア中間所得者層※をターゲットにして、「成長著しいアジアの活力」を取り込むチャンスが巡ってきている。 ※ 平成22年実績14億人⇒平成32年には23億人と見込まれる。

○九州から日本を動かす！

次世代に「明るい未来」をバトンタッチするには・・・

地域自ら考え、地域特性を活かし、地域から日本を変える気概が必要。

九経連は
「九州から日本を動かす」
気概で取り組む！

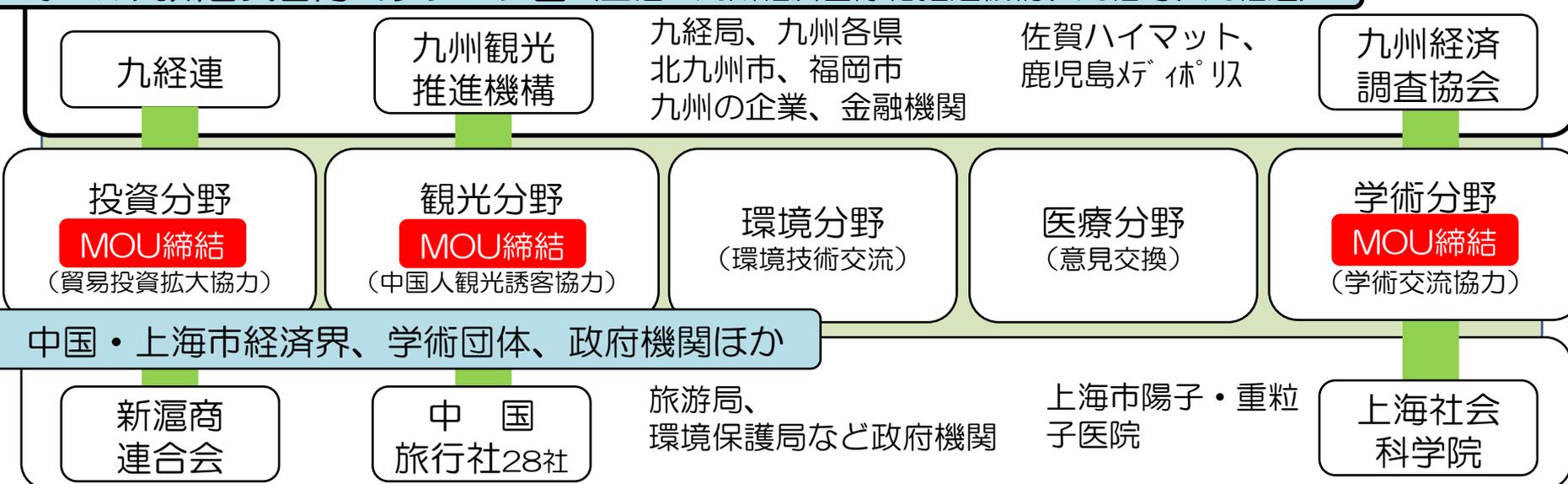
(2) 九経連の国際展開に向けた取り組み実績

①上海ミッション（産学官連携による5分野に渡るトップセールスとMOU締結）

○中国・上海と九州の産学官トップの交流を通じ、成長著しい上海の活力を九州に取り込んでビジネス展開を図ることを狙いに、平成26年8月31日（日）～9月3日（水）、麻生泰九経連会長を団長とする89名からなるオール九州官民合同ミッション団を上海市に派遣。

○地域ブロック単位の官民合同訪中団としては初、5分野で交流セミナー等を行い、うち投資、観光、学術の3分野で協力の覚書（MOU）を締結。

オール九州官民合同ミッション団（主催：九州経済国際化推進機構、九経局、九経連）



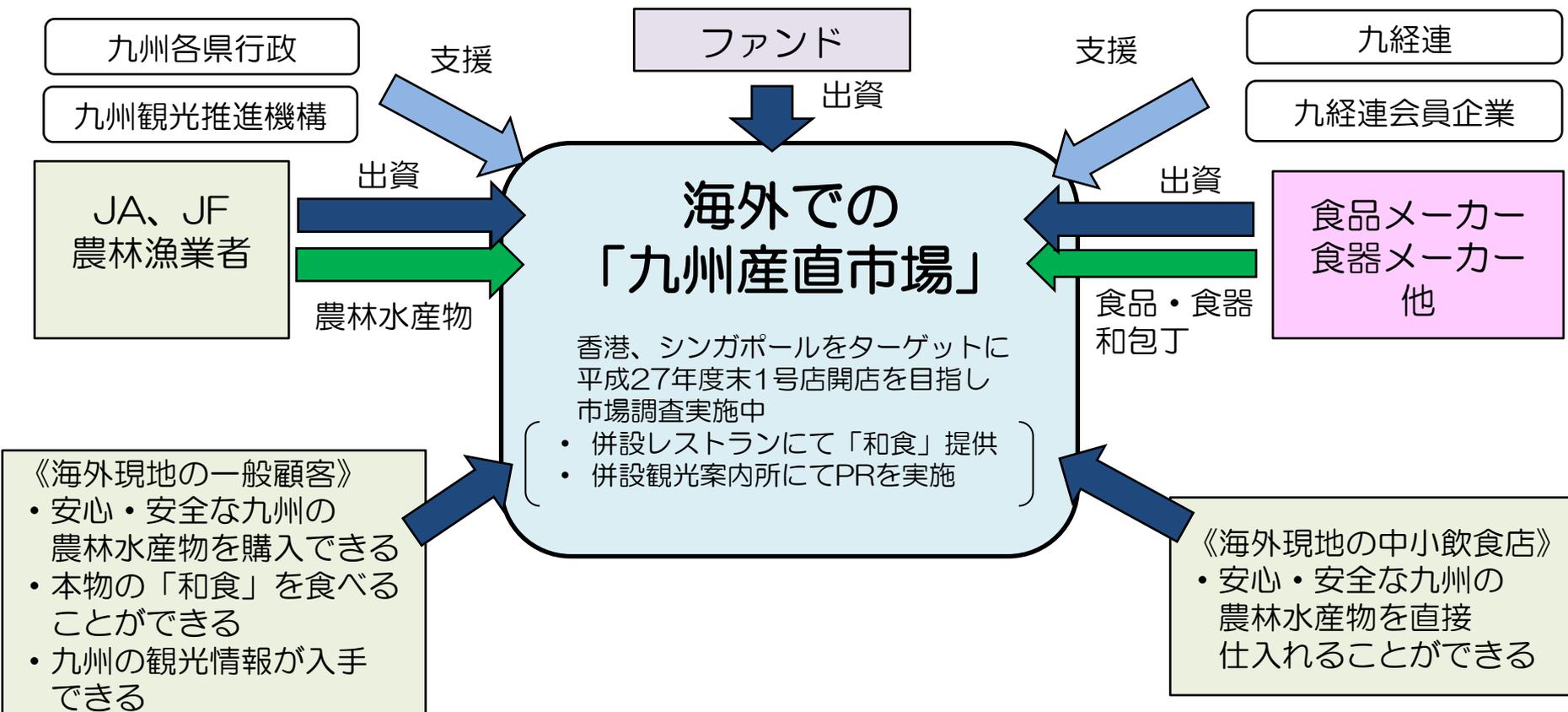
○九州から上海への農水産物・食品の輸出促進に向けた規制緩和を上海副市長に提言。

○今後、九州側で「上海フォローアップ会議（仮称）」を立ち上げ、ビジネスにつながるフォロー等を着実に行う。

②農産物輸出拡大に向けた海外での「九州産直市場」設立の取り組み

- 九経連はJAなど農業関係者と一体となり、海外への販路の拡大や、流通簡素化により生産者の手取り額増加をはかることなどを目的に、海外での「九州産直市場」の設立の検討に着手。
- 平成26年2月、官民をあげて香港での大商談会を実施。6月には農林水産省から事業検討助成の補助金認定を得るとともに、「九州産直市場検討協議会」を設置し、香港、シンガポールでの市場調査と事業開始に向けた計画策定を開始。

「九州産直市場」事業スキーム



③観光分野における九州一体となった取り組み（九州観光推進機構）

○九州広域連携の取り組みとして、平成17年に九州地域戦略会議において九州観光推進機構を設立。

○平成26年度からは「観光産業を九州の基幹産業にする」ことを目指して、九州観光ブランドイメージを「温泉を入り口に自然や食など様々な楽しみがコンパクトに味わえる九州」に統一し、ロゴマークを決定するなど、訪日外国人旅行者増加に資する取り組みを実施中。

観光分野における官民の連携

九州観光推進機構

第2期九州観光戦略
(平成26~35)を推進

官民連携の取り組み

- ・観光キャッチコピー・ロゴマークを決定し情報発信
- ・通訳案内士（特区ガイド）の育成
- ・WifiをはじめとするICT利用環境整備



Relax & Rejoice
ONSEN ISLAND KYUSHU
JAPAN

九州地域戦略会議

九州観光戦略を とりまとめ

構成メンバー

九州地方知事会
九経連
九州商工会議所連合会
九州経済同友会
九州経営者協会

九経連

観光委員会

九州地方知事会

九州広域観光検討委員会